

ミツバチ〇×クイズ

ミツバチのことを、皆さんはどれくらい知っていますか？
正しいと思ったら〇、間違いだと思ったら×をつけてみましょう！
答えと解説は次のページです。



1	働きバチは成虫になった後20日間程度は外出しないで、巣箱の中で役割分担をしながら仕事をしている	
2	ミツバチは、真夏に巣箱の中を子育てに最適な温度まで下げるために水を運ぶ	
3	はちみつは傷口を治療するために使用されてきた歴史がある	
4	働きバチは餌の豊かな春は冬の間よりも長生きし、新しく生まれたハチを協力しながら育てている	
5	ミツバチは、仲間に蜜が採れる植物の場所を教えるために巣箱の前でダンスを踊る	
6	ミツバチは、触角によって匂いを感じている	
7	ミツバチは太陽の位置によって方角を認識するので、曇りの日には飛ばない	
8	ミツバチの針は刺したら抜けないが、スズメバチの針は抜けるので何度も刺すことができる	
9	花粉を運び、花の受粉を助ける昆虫のうち、もっとも役に立っているのはミツバチである	
10	新しく生まれた女王バチは、働きバチとともに巣別れをして、別の群れを作る	
11	日本の野山には野生化したセイヨウミツバチが住んでいる	
12	はちみつからお酒や酢を作ることができる	
13	ミツバチは、花粉を運ぶために空中を飛びながら団子をつくる	
14	スギやヒノキは、花粉がたくさんあるので、ミツバチは喜んで花粉を集めに行く	
15	女王バチは、働きバチに対して、1日中細かい指示や命令を出している	

こた 答え



No.	こた 答え	かいせつ 解説
1	○	はたらきバチは、羽化してから最初の20日ほどは、巣箱の中で、掃除や子育て、女王バチの世話、はちみつの管理、巣の増改築、門番などの仕事を分担しています。その後、外に出てはちみつや花粉を集めます。
2	○	ミツバチは外の温度が高くなる真夏には、水場に行って盛んに水を巣箱内に運び込みます。巣箱内に水を撒いて、温度を子育てに最適な35℃前後に調節しているのです。
3	○	はちみつの抗菌作用は、古代エジプトでも知られていたようで、傷の治療に使われていたという記述が、エジプトの古い書物にも見られます。現在でも、ガーゼにはちみつをたっぷりしみ込ませ、清潔にした傷口にあてるだけの簡単な治療法は行われています。はちみつは傷口に張り付きにくく、殺菌力や保水性があるために、早くきれいに傷を治してくれます。
4	×	ミツバチたちは、冬の間は外にほとんど出ることなく、巣箱の中で暖めあっています。そのため、エネルギーを使うことが少なく、秋に生まれた働きバチが春まで生き延びて、新しく生まれたハチを育てます。春から秋にかけては、忙しく働いて40日前後で寿命を迎えます。
5	×	特定の花の位置を他のハチに教える方法は、尻ふりダンスと呼ばれます。このダンスは、空中ではなく巣箱の中で行われます。まず巣板の上で歩きながら半円を描いてから、花の方向へ直線を進み、次に反対方向への半円を描いてから、また直線を進むという動作の繰り返しです。直線部分を進むときにミツバチはお尻をブルブルと細かく震わせるために、尻ふりダンスと名づけられました。
6	○	ミツバチの頭には触角が2対あり、さまざまな情報をキャッチするセンサーの役割を担っています。優れた嗅覚を持ち、フェロモンを受け取るのも触角で行っています。聴覚も触角にあり、空気の振動なども感じることもできるのです。実は、頭の上ではなく、人間で言えば鼻のあたりにあります。
7	×	ミツバチは、人間が見えない紫外線を認識できます。そのため、曇りの日でも紫外線をたよりに太陽の位置を知ることができるのです。
8	○	ミツバチは、敵から巣や仲間を守るために、針を刺しますが、一度刺したら針が抜けずに死んでしまいます。しかしスズメバチは、針を引き抜くことができるため、何度も刺すことができるのです。

こた つづ 答え(続き)



No.	こた 答え	かいせつ 解説
9	○	花粉を運ぶ昆虫の中でも、世界中にいるミツバチは、その数の多さと、訪れる植物の種類が多さ、そして仲間同士でコミュニケーションを行っているという点で、他のどの昆虫よりも優れています。そして、地球環境を破壊することなく、はちみつやローヤルゼリーなどを生産して、生態系を保つことに貢献しています。
10	×	新しい女王バチが育って、もうすぐ羽化するという頃に、半数ほどの働きバチとオスバチが、旧女王バチとともに新しい巣を作るために出ていきます。これは巣別れのことで、分封(分蜂)と呼ばれます。
11	×	セイヨウミツバチが日本に来たのは明治時代初期です。日本には天敵であるスズメバチが生息しており、野生化したセイヨウミツバチは攻撃を受けて全滅してしまうため、ほとんどいません。
12	○	はちみつ酒(ミード)は、はちみつを水(約2~3倍)で薄めてアルコール発酵させて造ります。はちみつは、水で薄めると糖分の濃度が下がり、発酵が始まります。はちみつ酒からさらにアルコール発酵が進むと、はちみつ酢になるのです。
13	○	ミツバチをよく観察していると、飛びながら花粉を丸めていることがあります。ミツバチは花にもぐりこんでいる間に、おなかや脚などに生えている毛に花粉が付き、体中が花粉まみれになります。その花粉を、脚や口をつかって器用に集め、蜜と混ぜ合わせながら大きな花粉団子を作り、後ろ脚に付けて巣に持ち帰っています。
14	×	スギやヒノキなどの針葉樹は、昆虫類と共生しながら進化した植物よりも前に地球上に誕生したもので、受粉は主に風に頼っています。そのため、ミツバチが針葉樹の花粉を利用しているという目撃情報はありません。
15	×	ミツバチの群れの中心には1匹の女王バチがいます。「女王」がつくため、働きバチに指示や命令をしていると思われがちですが、女王バチの仕事は産卵のみで、指示などは一切していません。

みな 皆さんは何問正解できたでしょうか。

自然環境と共存し、仲間や家族と協力しながら生きるミツバチの姿を、1枚の絵にしてみませんか？

素敵な作品のご応募を楽しみにお待ちしております！

「第12回ミツバチの一枚画コンクール」 作品募集中 7/15(月・祝) 消印有効

詳しくはこちら ⇒ <https://www.3838.com/ichimaiga>

一枚画コンクール

検索